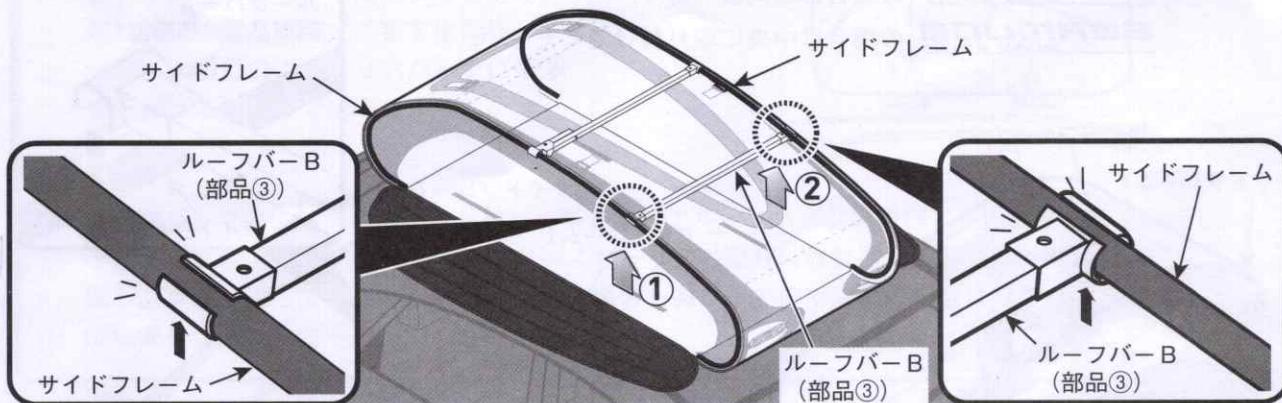
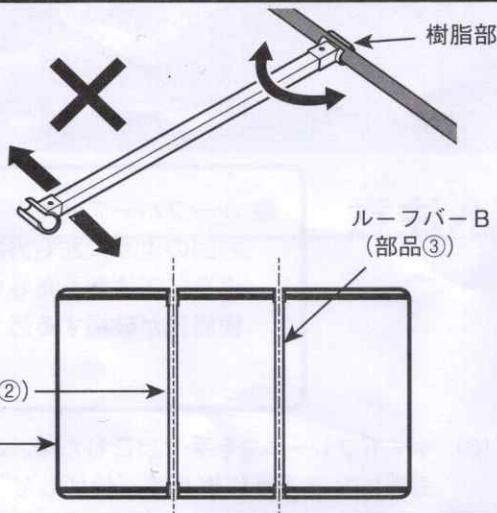


- (7) ルーフバーB（部品③）を車両前方の左右のサイドフレームに下側から取り付けてください。
 （本作業は **BERMUDA FLEX 3700** の組み立て時には行いません）

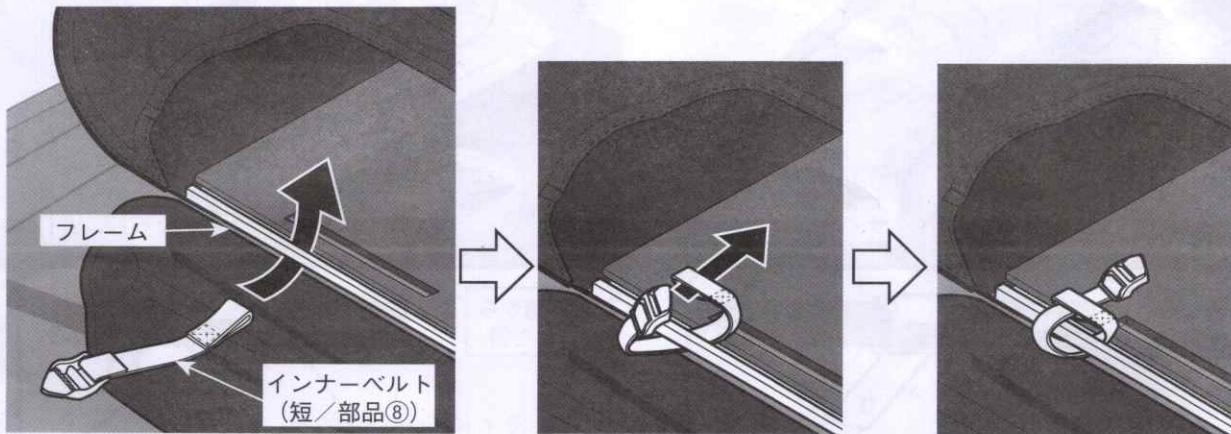


△注意

- ルーフバーをサイドフレームに嵌めた際、右図のように左右方向への力が掛からないようにご注意ください。
 樹脂部が破損する恐れがあります。
- ルーフバーは確実に取り付けてください。
- ルーフバーA/Bは、平行になるよう取り付けてください。



- (8) ルーフバッグの底のフレームにインナーベルト（短／部品⑧）を取り付けてください。
 ※ **BERMUDA FLEX 3700** は前後2ヶ所、**BERMUDA FLEX 5700** は前後と中央の3か所に取り付けてください。

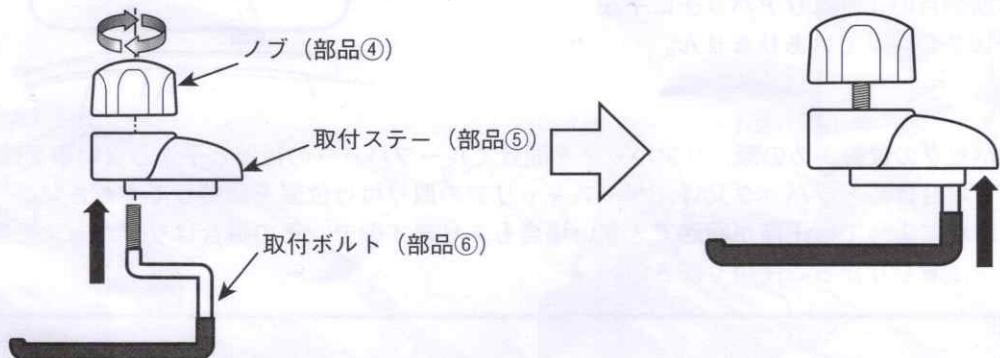


- (9) インナーベルト（短／部品⑧）を取り付けた逆側のフレームに、インナーベルト（長／部品⑦）を同じように取り付けてください。

【3】車両への取り付け

※下記説明は、Terzoエアロバーに本製品を取り付ける際のイラストですが、スクエアバーも取付手順は同様です。

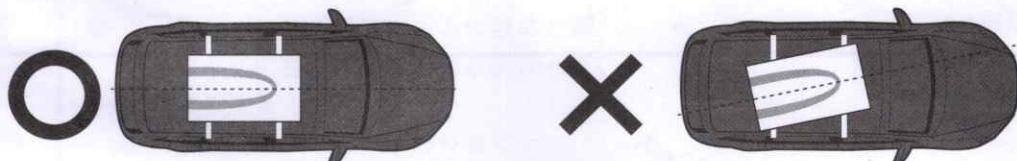
- (1) ノブ（部品④）、取付ステー（部品⑤）、取付ボルト（部品⑥）を図のように組み付けて、ステーAss' yを4セット用意してください。



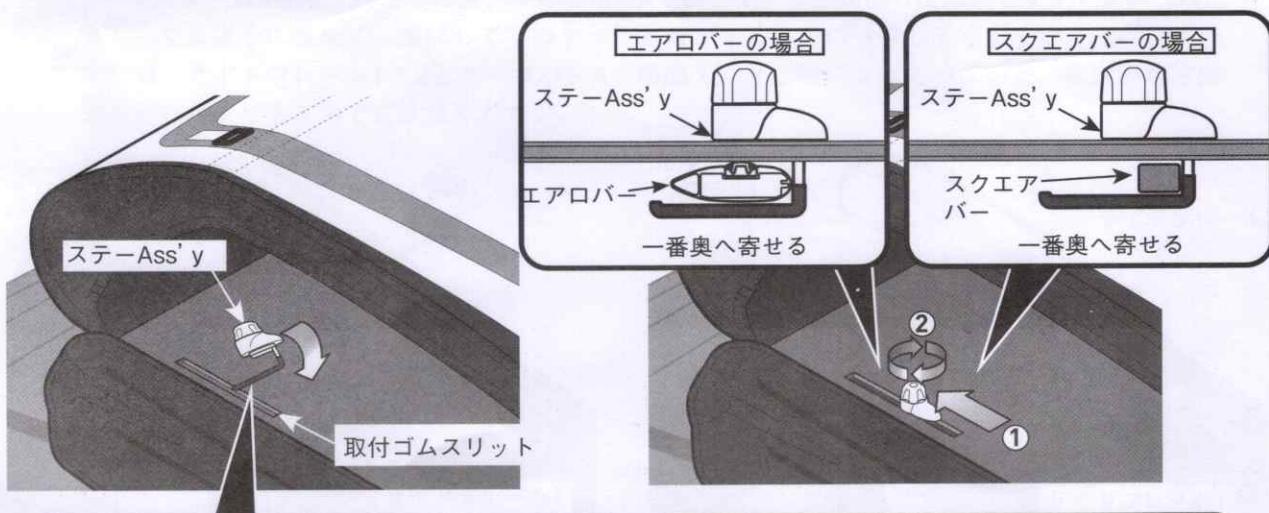
△注意

- 取付ボルト（部品⑥）は、取付ステー（部品⑤）の開口部の一番奥まで差し込んでください。

- (2) ルーフバッグが車の進行方向と平行になるように、調整してください。

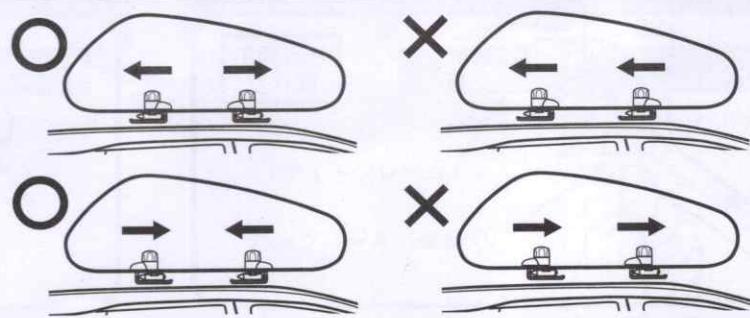


- (3) ステーAss' yを図のように取付ゴムスリットへ差し込み（4ヶ所）、外側へスライドさせてエアロバーに取り付けて、ノブ（部品④）を仮締めしてください。



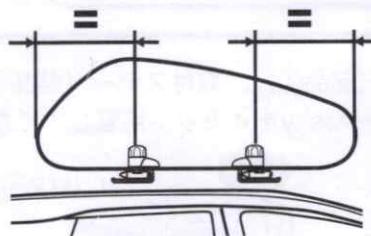
ステーAss' yはボルト開口部が
図のように向くように取り
付けてください。

ボルト開口部



△注意

- メインバーからルーフバッグの両端までの長さが前後でなるべく同じになるように取り付け位置を調整する事を推奨致します。但し、次項目のようにリアハッチに干渉する際はこの限りではありません。



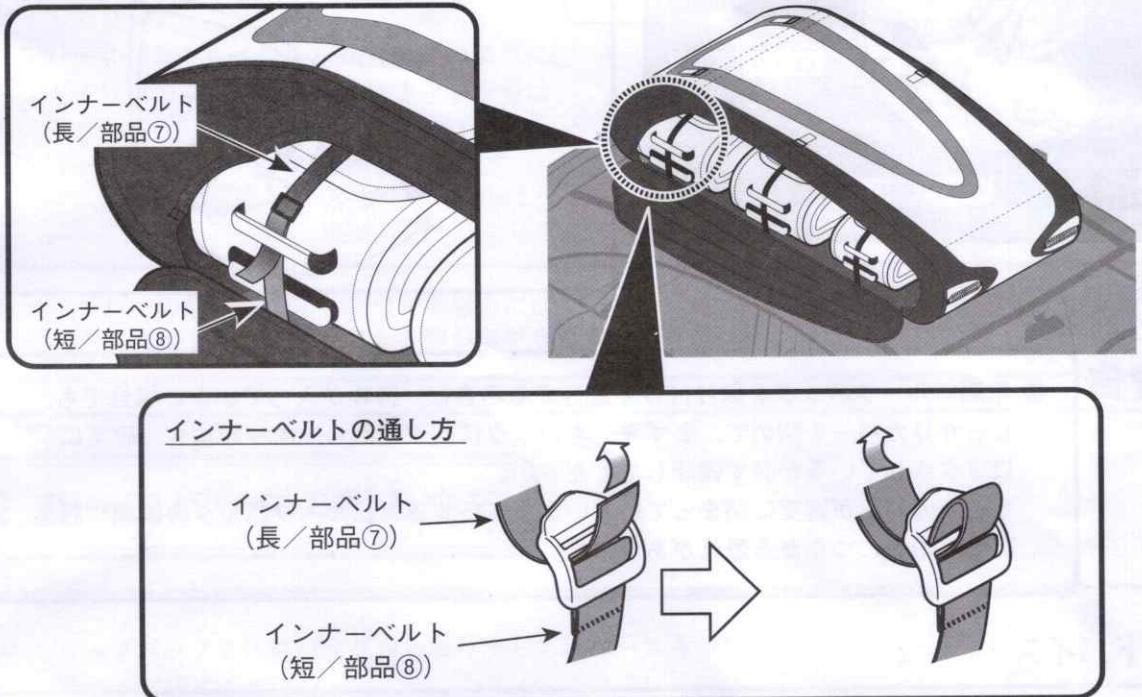
- ルーフバッグの位置決めの際、リアハッチを開けてルーフバッグの後部と干渉しない事を確認し、干渉する場合はルーフバッグ又は、ベースキャリアの取り付け位置を調整してください。但し、車種によっては干渉が回避できない場合もありますので、その場合はリアハッチを開ける際に充分注意しながらご使用ください。

(4) ノブ（部品④）を本締めしてください。（推奨締め付けトルク：4.5N・m）

(5) ルーフバッグが確実にベースキャリアに固定されている事を確認してください。前後左右にゆすって、ゆるみができた場合は、増し締めしてください。

【4】荷物の積載方法

- (1) ルーフバッグに荷物を積載し、【2】 - (8)、(9) で取り付けたインナーベルトを使用して固定してください。 (**BERMUDA FLEX 3700** はインナーベルトが2本です。)



△注意

- 積載物は必ずインナーベルトにて固定してください。
- 積載物は均等になるように積んでください。
- インナーベルトは緩みのないよう、しっかりと締め付けてください。
- 本製品は完全防水仕様ではありませんので、降雨時、降雪時に荷物を入れる場合はビニール等で荷物を保護してから積載してください。

- (2) サイドカバーを閉じて、ルーフバッグのスライダーを引いてサイドカバーを閉めてください。

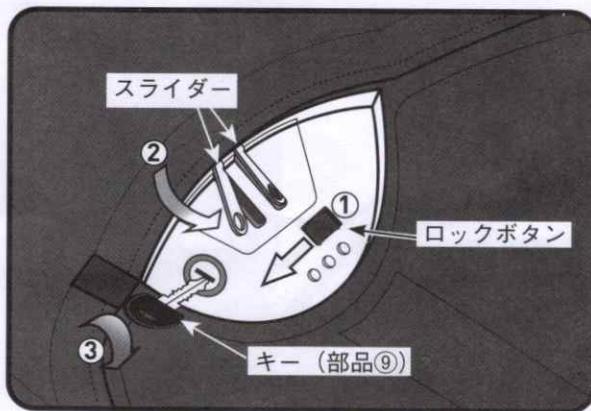


アドバイス

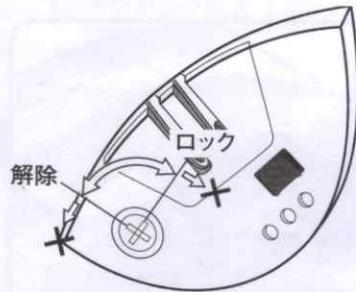
- スライダーは使用していくと滑りがよくなっていますが、それでもスライダーが閉じにくい場合にはシリコンスプレー等を塗布してください。

- (3) ロックボタンを斜め下方向に押しながらスライダーを収納して固定した後、キー（部品⑨）でロックしてください。

△注意



- キーは、確実に90°回してから抜いてください。又、キーを90°以上無理に回すとキー部が破損してしまう恐れがありますので、ご注意ください。



△警告

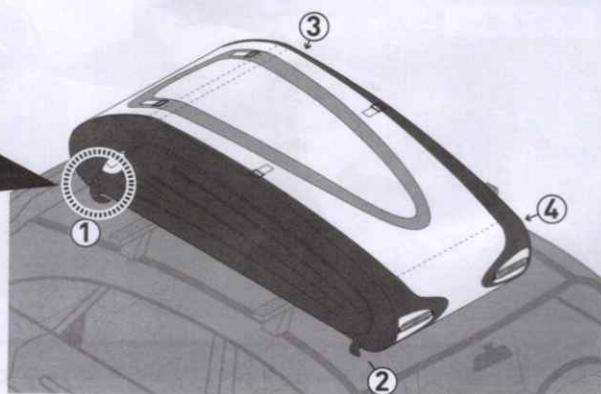
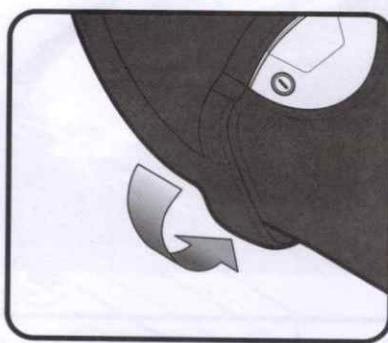
- 車両にルーフバッグを取り付けて走行する場合は、荷物が入っていない場合でも、しっかりカバーを閉めて、必ずキーをロック位置まで回し、キーを抜き、確実にロックされているか必ず確認してください。
サイドカバーが確実に閉まっていないまま走行すると、ルーフバッグの破損や脱落、荷物の紛失につながる恐れがあります。

アドバイス

- 本製品を長く使用していると、キーシリンダー内部に細かい異物が入り、キーが回りにくくなる場合があります。
キーシリンダーにキーを差し込んでもキーが回らない場合は、潤滑剤をキープレート挿入部へ注入してください。
又、潤滑剤を注入してもキーが回らない場合は、販売店等にお問い合わせください。
(潤滑剤によっては樹脂に悪影響を及ぼすものもありますので、潤滑剤を使用する際は、シリコンスプレー等の樹脂に影響のない潤滑剤をご使用ください。)

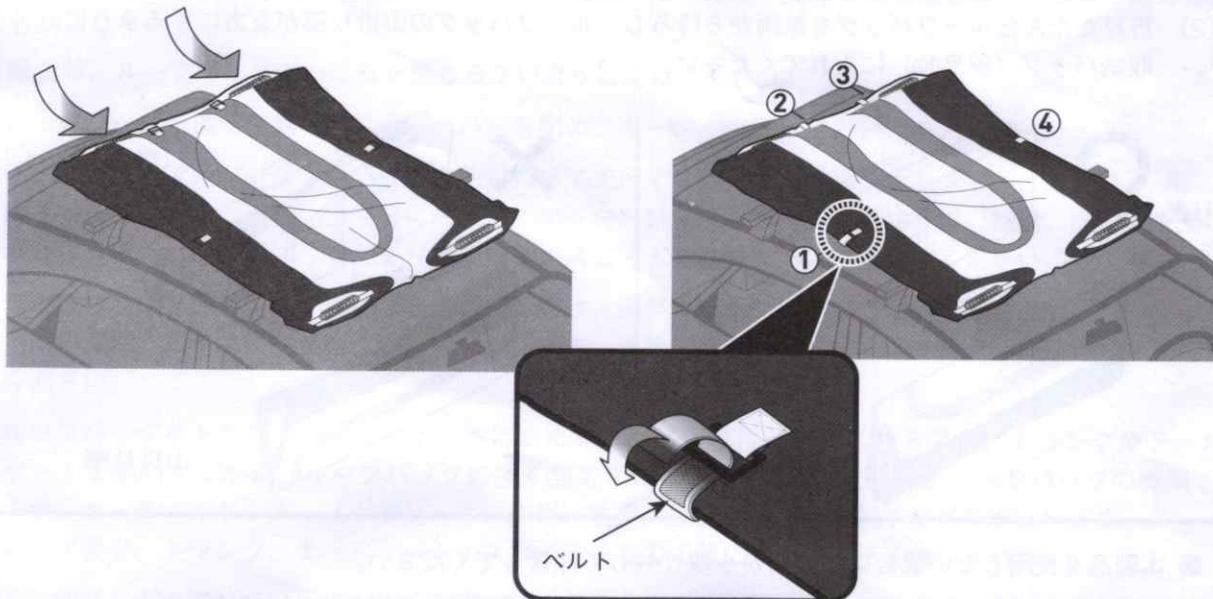


- (4) 図の位置の4ヶ所のマジックテープをしっかりと留めてください。



本製品を折りたたんで走行する場合

本製品を折りたたんで走行する場合は、[2]ルーフバッグの組立て を逆の手順で行ない、ルーフバッグの後部を中心に折りこんで、4ヶ所のベルトをしっかりと締めてください。



△警告

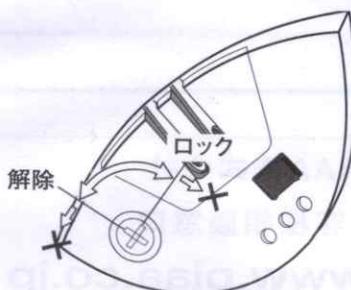
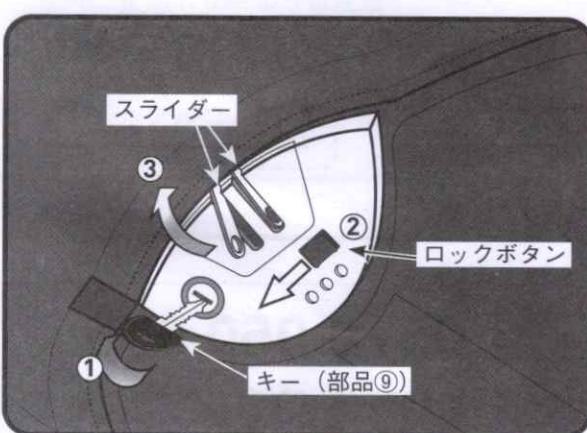
- 折りたたんで走行する場合は、荷物は積載しないでください。
- 取り外したルーフバーは車内に保管してください。
- 折りたたんで走行する場合は90km/h以下で走行してください。

【5】キーの解除方法

キー（部品⑨）でキーロックを解除して、ロックボタンを斜め下方向に押しながらスライダーを取り出してサイドカバーを開けてください。スライダーは根元部分を押すと取り出しやすくなります。

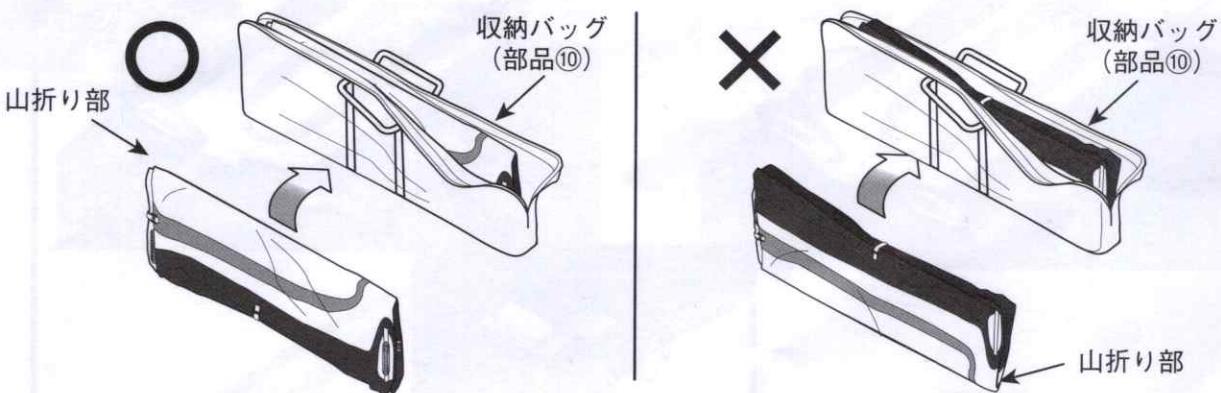
△注意

- キーは、確実に90°回してから抜いてください。
又、キーを90°以上無理に回すとキー部が破損してしまう恐れがありますので、ご注意ください。



[6] 収納方法／メンテナンス方法

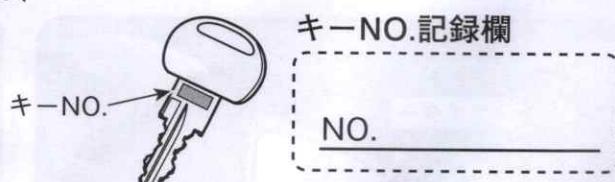
- (1) 本製品を収納する場合は、**[2] ルーフバッグの組立て** **[3] 車両への取り付け** を逆の手順で行なってください。
- (2) 折りたたんだルーフバッグを車両から降ろし、ルーフバッグの山折り部が上方にくるように収納バッグ（部品⑩）に入れてください。



- 本製品を使用しない場合は、車両から取り外して保管してください。
- 使用後はサビやカビ、劣化を防ぐ為、汚れを落として濡れている場合は充分乾かしてから収納バッグに入れ、直射日光、高温多湿を避けて水気のない所に保管してください。
- 本製品の汚れを落とす場合には、中性洗剤、有機溶剤は使用せず、大きな汚れを落としてから雑巾等で傷をつけないよう水拭きしてください。（P3参照）
- ルーフバッグ内側の底が汚れた際は、底板を固定しているベルトを外して、底板を取り外して汚れを落とす事ができます。
- 市販の防水スプレーを塗布しておくと、防汚、耐水等に効果的です。（防水スプレーは目立たない部分で色落ち、変色の無い事を確かめてからご使用ください。）
- 本製品を装着したまま洗車機にかけないでください。

[7] キーNO.について

- 本製品のキー（部品⑨）に刻印されているキーNO.は、あらかじめ右記記録欄に記録して、大切に保管しておいてください。
万キーを紛失した場合、必要となります。



PIAA株式会社
お客様相談窓口
<http://www.piaa.co.jp>



0570-050-555

受付時間 10:00~12:00/13:00~17:00
(土・日・祝日を除く)

保証書



**Terzo ルーフバッグシリーズ
【EA370BFX／EA570BFX】**

製品名（品番）		Terzo ルーフバッグシリーズ 【EA370BFX／EA570BFX】		
お客様	ご住所	〒	□	
	ご氏名	フリガナ：		
装着車両		車種名	年式	型式
お買い上げ日		年	月	日
保証期間		お買い上げ日より、2年間（収納バッグは保証対象外）		
販売店	ご住所	〒	□	
	店名			
※この枠内に販売店印を押印してください。				

保証規定

1. お買い上げ日から2年間の保証期間内に、取扱説明書に沿った正常なご使用状態で万一故障した場合、無償で代替品又は、同等品と交換致します。（本製品は修理する事ができません。）お買い上げ店に本保証書をご提示の上、ご連絡ください。但し、収納バッグは保証対象外とさせて頂きます。
2. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
3. 本保証書は、正規販売店にてお買い上げ頂いた場合のみ有効です。
個人売買、ネットオークションにてご購入された場合につきましては、保証対象外とさせて頂きます。
4. 次の場合については保証期間内であっても補償致しかねます。
 - a) 本保証書、装着車両の車検証のコピー及び対象の現品の提示がない場合。
 - b) 本保証書の記載事項が未記入又は、字句を訂正された場合。
 - c) 本保証書に販売店名の記載押印、購入日の明示がない場合。
但し、購入時の領収書（レシート）があれば本保証書に添付してください。
 - d) 原因が本製品以外である場合の破損又は損傷。
 - e) 誤った使用により発生した破損又は損傷。
 - f) 販売店以外で実施した修理、改造が原因で発生した破損又は損傷。
 - g) お客様による輸送、取り扱い時の衝撃等によって発生した破損又は損傷。
 - h) 交通事故、天災、火災及び地震等の不測の事故又は事件（車両盗難）で発生した破損又は損傷。
 - i) ご使用後の経年変化及びキズ、部品や付属品の紛失等による修復交換。
 - j) 本製品の使用の限界を超える使用をした場合。
5. 次のような二次的な損害については保証期間内であっても補償致しかねます。
 - a) 本製品の取り付けに起因した車両の不具合、事故及びそれにより自動車が使用できなかった事による損失（電話代、レンタカー代、休業保証、商業損失等）。
 - b) 積載物をベルトで固定せず、積載物が損傷した場合の積載物の補償。

ご留意点

1. 本保証書は再発行致しませんので、大切に保管ください。